

第46期 定時株主総会

事前質問概要

- 質. 当社の事業戦略推進に当たり、社外取締役に期待される役割について伺いたい。
- 答. 当社がグローバル市場で持続的に成長するためには、適切なリスクテイクを支える環境整備が必要であると考えております。そのため、社外取締役には、企業経営に対する経験・識見、専門的知見などをもとに、事業戦略の推進に伴うリスクに対する管理体制の適切な整備に対する助言、提言を期待しております。これにより、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。
- 質. 本総会に上程されている社外取締役候補者の兼職先において不祥事があるようであるが、それぞれの事案について、当社としてそのような取締役を選任することについての考えを伺いたい。
- 答. 社外取締役の兼職先における事案については、招集ご通知に記載のとおり、当社も把握しております。当社においては、業務執行取締役と社外取締役との意見交換会等の適切な情報交換の場を設けるなど、積極的なコミュニケーションを図り、取締役会における監視・監督が有効に機能する体制の整備を図っております。これにより、社外取締役はそれぞれ日頃から当社取締役会等において、豊富な経験や高い見識、専門知識などに基づき、積極的な発言や提言、助言を行っており、社外取締役に期待される役割を果たしていただけるものと考えております。
- 監査等委員以外の取締役の再任の決定においては、専門スキルに加え、就任後の実績や活動状況、取締役会における発言等も踏まえ、当社の指名・報酬委員会からの答申および監査等委員会において適任との意見を受け、取締役会において決定のうえ、候補者としてお諮りしております。
- 質. 新任社外取締役候補者のメットキャフ氏を候補者とした理由および期待することは何か。
- 答. 当社が全世界に向け事業展開を強化していく中で、グローバルな視点から、当社の取締役会において、助言・監督をいただける人材を候補者として考えておりました。国際的な企業経営および企業統治の分野における高い見識をお持ちである同氏は、これらの豊富な知見、経験から当社の経営に有用な助言をいただけるものと考え、候補者としてお諮りしております。
- 同氏は、KPMG LLP に所属しておりましたが、招集ご通知に記載のとおり、当社取締役会として社外取締役の独立性に影響を及ぼすものではないと判断しております。当社としましては、グローバルな視点をもとに、同氏が当社取締役会の監督機能の強化に寄与いただくことを期待しております。
- 質. 株主優待を導入する予定はあるのか。
- 答. 当社は、株主様への利益還元として、毎期営業増益を継続し、当社株式の価値を高めるとともに、長期の株主様へは安定配当で還元していく方針であります。

質. 2020年発生不正アクセスを経て、どのようなセキュリティ対策を強化したのか。
答. 2020年の不正アクセスを踏まえ、これまで原因究明と再発防止のため、様々なセキュリティ強化策を講じてまいりました。概要は次のとおりです。
当社は、社内専門組織の設置に加え、セキュリティや個人情報保護法制に関する外部専門家からなる、外部アドバイザリー組織である「セキュリティ監督委員会」を設置し、定期的に開催しております。同委員会を通じて、セキュリティ等に係る技術や動向等の各種情報を共有するとともに、同委員会からの助言等を踏まえ、海外子会社を含む当社グループ全体で各種対策や取組みを進めております。また、重要情報の棚卸作業を定期的に行い、社内ルールの見直しや管理策の厳格化等、継続的な強化策を実施しております。
このような対応方針のもと、多要素認証(※1)の全面的な導入、EDR(※2)に加えてXDR(※3)をベースとしたSOC(※4)運営によるセキュリティ対策、当社グループ役職員の意識向上のための定期的な標準型メール訓練および各種研修等を実施し、取締役会に必要な応じて報告を行っております。併せて、万一の非常時に備えて、早期対処・復旧できる体制の構築にグループ全体で努めております。
今後も引き続き、当社グループはセキュリティ監督委員会の助言を参考に、さらなるセキュリティ水準の継続的向上に努めてまいります。

※1：パスワードだけでなく複数の方法を組み合わせ本人確認する仕組みのこと

※2：Endpoint Detection and Response の略。ユーザが利用するパソコンやサーバなどの機器に不審な挙動を検知するソフトウェアを導入し、迅速な対応を支援する仕組みのこと

※3：Extended Detection and Response の略。ネットワークやシステム、クラウド環境など複数のセキュリティ領域を常時監視する仕組みのこと

※4：Security Operation Center の略。SOC 運営は、システムやネットワークを常時監視し、攻撃の検出・分析・対応する組織体制のこと

質. 『ストリートファイター6』について、ダウンロードコンテンツを継続的に展開しているが、今後の展開方針を伺いたい。

答. 2025年6月にNintendo Switch2向けに発売したほか、Year3として、キャラクターの追加も発表しております。

現状、多くのユーザーの皆様プレイいただいております。ユーザー動向も見据えながら、長く楽しんでいただけるような取組みを引き続き進めてまいります。

質. 『エグゾプライマル』について、今後いつまでサービスを継続する予定なのか。

答. 『エグゾプライマル』は、新規IPであるとともに、オンラインタイトルとしてのチャレンジも兼ねております。今後のユーザー動向もみつつ判断してまいります。

- 質. 開発期間の長期化を懸念しており、今後の対応について伺いたい。
- 答. ハードの高性能化に伴う表現の幅の拡大により、開発する物量が大幅に増加しております。
また、高いクオリティを担保するため、開発長期化の傾向がございます。
リソース投入時期をコントロールしているほか、当社ゲームエンジンである「RE エンジン」の機能を拡充する等、開発の効率化について随時検討・対応を行っております。
- 質. 新作タイトルに関して、ボリューム不足や最適化不良などの声があるが、今後の対応について伺いたい。
- 答. ユーザーの皆様からのフィードバックは、開発チーム一同、目を通しております。
今後のアップデート等を通じて、ユーザーの皆様により一層ご満足いただけるよう対応を進めてまいります。
- 質. 過去作のリメイクや休眠 IP の復活が進められているが、「囚われのバルマ」や「デビル メイ クライ」等について、今後のシリーズ展開について伺いたい。
- 答. 全ての IP が当社にとって大切であり、ゲームに限らずメディアも含めて展開を考えてまいります。
グローバルに幅広いユーザーの方に楽しんでいただけるよう、今後も当社 IP の活用については引き続き検討を進めてまいります。
- 質. メタバースについての考え方を教えてほしい。
- 答. 将来性のある技術だと感じておりますが、情勢を見据えて対応を判断してまいります。
- 質. e スポーツのイベントにおいて、ドーピング検査を導入しているのか。
- 答. 当社は、主催する大会においては現時点では導入しておりませんが、コントローラー利用規定をはじめとする公式規程を設け、選手がこれらのルールを遵守することを条件として、選手が平等にプレイできる環境を整備しております。
- 質. 「CAPCOM Creators JP」はどのようなプロジェクトなのか。また、このプロジェクトによるカプコンタイトルへの影響を伺いたい。
- 答. 「CAPCOM Creators JP」は、YouTuber など一般のクリエイターの方々にカプコンタイトルの魅力を発信いただき、盛り上げていただくことを目的としたプロジェクトになります。クリエイターの方々の独自の視点で発信いただき、当社ブランド認知とユーザーの拡大を期待しております。
直近では、『モンスターハンターワイルズ』において最新情報を YouTube でそれぞれ発信いただいたほか、『ストリートファイター6』では公式イベント「チャンスを掴め！Capcom Creators JP 杯」の開催を6月21日に予定しております。
今後も展開を推し進め、当社ブランド認知とユーザーの拡大を図ってまいります。

第 46 期 定時株主総会
質疑応答概要、コメント概要

質. 東京証券取引所より投資単位の引下げに係る検討が上場各社に要請されている中、株価が 4,000 円台後半まで上昇しているが、株式分割は検討しているのか。

答. 株式分割については、過去に当社で実施しており、世の中の情勢も認識しております。何が株主様にとって有益になるのか、社内での議論を継続してまいります。

質. 主要タイトルのユーザー層が高年齢化している中、若年層に向けたカプコン製品の認知度向上への戦略や工夫について伺いたい。

答. 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
若年層のユーザーも含めて、幅広い世代のユーザーの方に楽しんでいただけるよう、今後も当社 IP の活用については、引き続き検討を進めてまいります。

質. 『モンスターハンターワイルズ』について、SNS や掲示板等での評判を開発スタッフは理解しているのか。また、このような状況となったのは、同業他社からの引き抜きが影響しているのではないのか。

答. ユーザーからのご意見については、開発スタッフも目を通しており、対応できるものに関しては、今後のタイトルアップデート等にて対応してまいります。
また、スタッフについては、各タイトルに適正な人材を配置しております。『モンスターハンターワイルズ』においては、以前より「モンスターハンター」シリーズに携わったスタッフも多く参加しております。

質. 当社発売の「天地を喰らう」シリーズは、ゲーム音楽も含めて、高く評価されており、サウンドトラックの発売を検討してほしい。また、ファミコンで発売していたタイトルについて、今後、リメイクして発売する予定はあるか。

答. 当社が保有している IP は、全て大切な IP であり、常に展開は検討しております。その中、複数のタイトルをまとめたタイトルを発売するなど、多くのユーザーに楽しんでいただくための展開を行っており、リメイクとして発売できるアイデアがあれば、前向きに検討しております。
また、サウンドトラックについては、貴重なご意見としてうけたまわります。

質. 「ロックマン」シリーズの今後の展開について伺いたい。

答. 「ロックマン」シリーズは当社にとって大切な IP であり、常にゲームの展開は検討しておりますが、現状お伝えできる情報はございません。

質. 「ロックマン」シリーズのグッズ展開について、売上への貢献度や期待度を伺いたい。

答. IP ごとの個別の売上は開示しておりませんが、「ロックマン」シリーズについては、特に海外からのお問い合わせが多く、さらにビジネスを拡大できるよう注力してまいります。

質. 『エグゾプライマル』は、プロモーションに注力していたが、体験版からユーザーの評価は芳しくなく、一方で、『祇（くにつがみ）：Path of the Goddess』は、体験版からユーザーの評価が高かったにも関わらず、販売増加に向けたプロモーションがなされていなかった。各タイトルにおけるプロモーションの方針について伺いたい。

答. 新規 IP の創出は、当社にとって重要と考えておりますが、タイトルの周知と販売を伸ばしていくための施策については、引き続き検討を行ってまいります。

『エグゾプライマル』については、クロスプレイを採用した実験的タイトルでもあり、当該タイトルを通じて得た経験は、2025 年 3 月期発売の主要タイトルである『モンスターハンターワイルズ』に活かされております。

また、『祇（くにつがみ）：Path of the Goddess』についても、新規 IP としてプロモーションを最大限行っており、2026 年 3 月期には Nintendo Switch 2 向けの発売および追加 DLC の配信を行うなど、引き続き両タイトルの周知と魅力の発信に努めてまいります。

質. ニンテンドー3DS のオンラインプレイサービスが終了したが、『モンスターハンター4G』等のタイトルについて、再度オンラインでプレイできるようにする施策は検討しているのか。

答. 過去タイトルのオンラインプレイは、基本的に各プラットフォームのサービスを使用しているため、サービスが終了した場合、オンラインでプレイいただけなくなります。

現在のところ、オンラインサービスが終了している過去タイトルについては、再度オンラインでプレイできるような計画はございません。